

② センター教育フォーラム

主体的に研究を進めている研究グループ等の発表をとおして、教員自らが持つ課題やその解決策、教員として必要な資質等について学び、教育活動の実践に役立てることをねらいとして実施した。教科等指導員等が、若手教員の思いやニーズを知る機会となり、自主研修やOJTのあり方について気づきを得る会となった。

開催日 平成28年2月2日(火)

テーマ 「一人一人を大切にせる教育 ～気になる児童・生徒へのアプローチ～」

【内容】

1 研究グループの研究発表

(1) 支援教育グループ

伊丹市立鈴原小学校 宮地 千春 教諭

① 研究会概要

② 事例「電気を消してしまうAさん」について

→行動の背景を考え、情報収集・整理し、分析する。
仮説を立て、支援・検証を繰り返す。



(2) 伊丹市養護教諭部研究会

伊丹市立鴻池小学校 大西 郁美 養護教諭

① 研究会概要

② 保健室の機能（利用者数、利用状況、具体的な対応例など）

③ 緊急対応、保健室登校、食物アレルギー

④ 事例「給食を食べて」について

→保護者と学校など、複数でのチェックを行う。
職員研修の必要性

2 グループ討議

- 参加者を校種別に15のグループに分け、学習や生活の中で気になる児童生徒にアプローチする際の視点、具体的な手立てや取り組み等について話し合った。

3 発表

